

新地方公会計制度に基づく財務諸表を公表

地方公共団体の会計では、1 年間にどのような収入があり、何にいくら使ったのかを明らかにすることを目的としています。しかし、この方法では、現在とだけだけの資産があり、それだけの負債があるのか分かりにくいものとなっています。行政活動の多様化・厳しい財政状況を背景として財政状況などに係る情報を開示すること

平成 22 年度印西市バランスシート

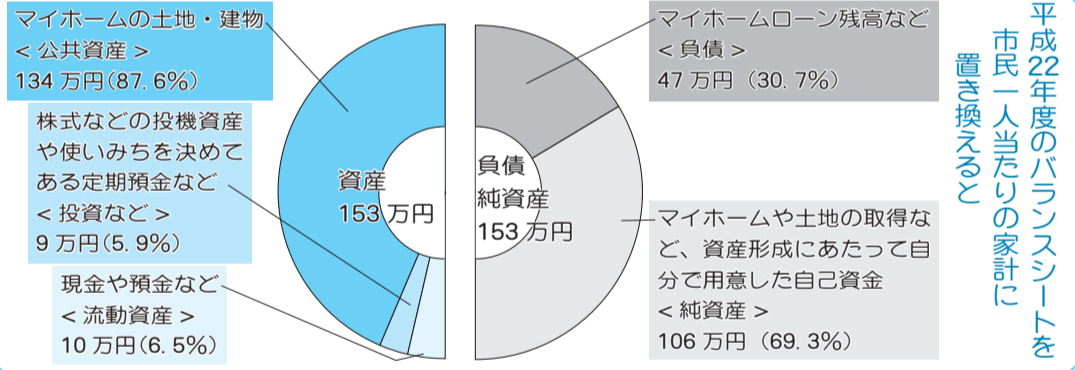
平成 23 年 3 月 31 日現在 (単位: 千円)

Table with columns for Assets (借方) and Liabilities (貸方), subdivided into Public Assets, Investments, Current Assets, etc. Total Assets: 137,207,518; Total Liabilities: 137,207,518.

市が所有する土地・建物などの資産を地方財政状況調査のデータに基づき、行政目的別に区分表示したもの
有形固定資産のうち、価性の高い土地や建物で、今回の改訂モデルで新たに加わった項目
水道事業などへの出資金や信用保証協会などへの出資金
まちづくりなど特定の目的に使用する基金
年度間の財源を平準化するための基金や将来の市債償還に充てるための基金など、年度末の歳計現金も含む
基準日までに徴収できなかった税金など

市債のうち、翌年度(平成24年度)以降償還が予定されている元金
年度末に在職する特別職を含む全職員が普通退職する場合に必要な退職手当推計額
市債のうち、翌年度(平成23年度)中の償還予定元金
これまでに形成された資産のうち、今後返済が必要となる金額
借方に「売却可能資産」が加わったことによる変動額や寄附などにより無償で受贈した場合の評価差額
これまでに形成された資産のうち、すでに負担した金額。旧モデルでは、「正味資産の部」と表記していました

バランスシートの見方
この表では、左側(借方)に市が保有している土地・建物・預金などの「資産」を示し、右側(貸方)にその資産を形成したために、将来の世代が負担し今後支払いが必要となるもの「負債」と、これまでの世代がすでに負担し支払いの必要がないもの「純資産」がいくらあるかが示されています。



経常行政コスト(消費)の部 (単位: 千円)

Table of regular administrative costs by category: Personnel, Materials, Transferable, etc. Total: 25,625,960.

経常収益の部 (単位: 千円)

Table of regular administrative income by category: Usage fees, Contributions, etc. Total: 25,039,618.

行政コスト計算書とは
1年間の行政活動のうち福祉サービスやごみの収集のように「資産の形成につながる行政サービスに要する経費(経常行政コスト)」と「その行政サービスの対価として得られた財源(経常収益)」を対比させた財務諸表です。
行政コスト計算書とは
1年間の行政活動のうち福祉サービスやごみの収集のように「資産の形成につながる行政サービスに要する経費(経常行政コスト)」と「その行政サービスの対価として得られた財源(経常収益)」を対比させた財務諸表です。
行政コスト計算書とは
1年間の行政活動のうち福祉サービスやごみの収集のように「資産の形成につながる行政サービスに要する経費(経常行政コスト)」と「その行政サービスの対価として得られた財源(経常収益)」を対比させた財務諸表です。